熊本高等専門学校	共通教育科（熊本）	開講年度	平成24年度 (2012年度)

学科到達目標

科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																				担当教員	履修上の区分
						1年				2年				3年				4年				5年					
						前		後		前		後		前		後		前		後		前		後			
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
一般	必修	国語IV	0012	学修単位	1													0.5		0.5						草野 美智子	
一般	必修	スポーツ理論	0020	履修単位	1													1		1						岩田 大助	
一般	必修	英語IV	0028	学修単位	2													1		1						楠元 実子	
一般	選択	経済学	0036	学修単位	2													1		1						時松 雅史	
一般	選択	哲学	0044	学修単位	2													1		1						永野 拓也	
一般	必修	保健・体育IV（全学科）	0001	履修単位	1																	1		1		岩田 大助	
一般	必修	コミュニケーション論	0006	学修単位	1																	0.5		0.5		古江 研也,草野 美智子,光永 武志,楠元 実子,髙木 朝子,岩下 いずみ	
一般	必修	国際言語文化論（英語）	0007	学修単位	1																	1					
一般	必修	国際言語文化論（英語）	0008	学修単位	1																			1			
一般	必修	国際言語文化論（韓国語）	0009	学修単位	1																	1				金 敬淑	
一般	必修	国際言語文化論（中国語）	0010	学修単位	1																	1				司馬 黎	
一般	必修	国際言語文化論（独語）	0011	学修単位	1																	1				Wiesert Detlef	

熊本高等専門学校	開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	コミュニケーション論

科目基礎情報

科目番号	0006	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	共通教育科（熊本）	対象学年	5
開設期	通年	週時間数	0.5
教科書/教材	プリントなどを使用		
担当教員	古江 研也,草野 美智子,光永 武志,楠元 実子,髙木 朝子,岩下 いずみ		

到達目標

1.自己理解を深め、自分に合った選択基準を考えることができる。自律的にキャリアをデザインする方法を知り、自分の意見を周囲に発言できる。進路に関するオムニバス講義（面接・社会人マナー・法律・病理など）を積極的に活用し、就職活動に必要なスキルを駆使できる。2.社会人として必要なマナー、一般常識、海外の文化習慣を理解し、社会的コミュニケーションとして実践できる。3.異文化・宗教や英語によるスピーチを正確に理解し、論理的思考を的確に把握できる。4.英語の発音の特徴や国による違いを理解し、英語による意見陳述が的確にできる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
表現面から学ぶキャリア授業（草野）	自己理解を深め、自分に合った選択基準を考えることができる。自律的にキャリアをデザインする方法を知り、自分の意見を周囲に発言できる。進路に関するオムニバス講義（面接・社会人マナー・法律・病理など）を積極的に活用し、就職活動に必要なスキルを駆使できる。	自分らしさを見据え、自分に合った選択基準を考えることができる。自律的にキャリアをデザインする方法を知り、自分の意見を周囲に発言できるようになる。自己理解を深め、自分に合った選択基準を考えることができる。自律的にキャリアをデザインする方法を知り、自分の意見を周囲に発言できる。進路に関するオムニバス講義（面接・社会人マナー・法律・病理など）を通して、就職活動に必要なスキルを知る。	自己理解が深まらず、自分に合った選択基準を考えることができない。自律的にキャリアをデザインする方法がわからず、自分の意見を周囲に発言できることが少ない。進路に関するオムニバス講義（面接・社会人マナー・法律・病理など）を通して、就職活動に必要なスキルを理解できない。
英語の発音と実践（楠元）	英語の発音の仕組みとバリエーションについて十分理解をしており、上手に発音することができる。	英語の発音の仕組みとバリエーションについて基本的な理解をしており、正しく発音することができる。	英語の発音の仕組みとバリエーションについて理解が不十分であり、正しく発音することができない。
異文化と世界情勢への理解（高木）	異文化・宗教を十分に理解しており、詳細な説明ができる。	異文化・宗教の基本的な理解ができ、簡単な説明ができる。	異文化・宗教の理解が不十分であり、簡単な説明ができない。
メディア文化に関する英文読解と英語での意見陳述（岩下）	メディア文化に関する英文を理解できる。またそれに基づいて自分の意見を簡単な英文で述べることができる。	メディア文化に関する英文をおおまかに理解できる。またそれに基づいて自分の意見を簡単な英文でほぼ述べることができる。	メディア文化に関する英文を理解できない。またそれに基づいて自分の意見を簡単な英文で述べることができない。
英語によるスピーチ理解（光永）	英語によるスピーチを聴いて、スクリプトを活用すれば内容を十分に理解することができる。	英語によるスピーチを聴く際に、スクリプトを活用すれば内容をおよそ理解することができる。	英語によるスピーチを聴く際に、スクリプトを併用しても内容をほとんど理解することができない。
マナーと社会習慣（古江）	マナーや習慣を正確に理解し、適切な対応ができる。	マナーや習慣を概ね理解し、対応ができる。	マナーや習慣への理解が不十分で、適切な対応ができない。

学科の到達目標項目との関係

本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 1-1 本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 1-2 本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 1-3

教育方法等

概要	日本語及び英語のコミュニケーション能力を高める方法について講義し、演習や課題提出、小テストを通してそれらを実践できる能力を習得する。必要な情報の収集に基づき、自らの意見や考えを効果的に伝えることができることや日本のみならず国際社会でも活躍できる技術者として不可欠な知識や実践的能力を身に付ける。
授業の進め方・方法	授業は、国語科と英語科の教員がオムニバス方式で行う。授業の内容とその方法は、各担当者のシラバスによって実施される。評価の方法は、各授業担当者の評価方法による。前期(中間・定期)、後期(中間・定期)の評価については、各担当者が終了した分のみで成績を出す。総合成績は、各担当者の評価を総合し、１００点で評価する。
注意点	ICTホール等を使用した授業となるので、各担当者のガイダンスに基づき、積極的に授業に参加し、集中力を保つこと。また、コミュニケーション能力は、自覚的に日常生活を送ることでスキルアップしていくので、学習したことを日々実践していくとともに、空き時間や自宅での学習においても情報収集に努めること。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	エントリーシートの書き方	エントリーシートの意味と、的確な表現について学ぶ。
		2週	面接の留意点①	面接の意味と、的確な受け答えについて実践を交えて、学ぶ。
		3週	面接の留意点② 社会人マナー	面接の意味と、的確な受け答えについて実践を交えて、学ぶ。社会人としての基本的なマナーについて使えるようにする。
		4週	エンジニアと法律（外部講師）	実際の場面を想定し、最低限の法的知識を得る。
		5週	エンジニアと健康（外部講師）	心身ともに健康で働くための、予備知識を得る。
		6週	日本語と英語の発音の方法の違い 発声演習、アルファベットの発音演習	日本語と英語の話し方の違いについて理解で、発音できる。
		7週	母音と子音の発声時の舌や息の出る位置と調音方法 音節と発音	音・語レベルでの英語の発音の仕組みを理解でき、発音できる。
		8週	英語の歌と日本語の歌 音声変化	句・文レベルでの英語の発音の仕組みを理解でき、発音できる。
	2ndQ	9週	中間試験	

		10週	歌詞の分析と練習 様々な英語（イギリス英語/アジア英語）の特徴	音声変化に気を配った発音ができ、英語のバリエーションについて理解でき、違いを聞き分けることができる。
		11週	正しい英語の発音の総復習 最終テスト	音声変化などの分析ができ、英語らしい音やリズムを身に付けることができる。
		12週	異文化理解のケース・スタディ(1)	異文化理解の不足で生じた問題に関するケース・スタディを行い、その必要性への認識を高めることができる。
		13週	異文化理解のケース・スタディ(2)	異文化理解の不足で生じた問題に関するケース・スタディを行い、その必要性への認識を高めることができる。
		14週	世界の宗教への理解を深める	世界の主な宗教の考え方の特徴について知識を広げ、考察できる。
		15週	定期試験	
		16週	世界情勢への理解を深める	世界の紛争地域やその他の情勢について知識を広げ、考察できる。
後期	3rdQ	1週	メディア文化に関する英文読解と意見陳述（１）	メディアの成り立ちを理解できる。それに基づいて自分の意見を英文で述べることができる。
		2週	メディア文化に関する英文読解と意見陳述（２）	日本文化の世界での受容を理解できる。それに基づいて自分の意見を英文で述べることができる。
		3週	メディア文化に関する英文読解と意見陳述（３）	視覚メディアを理解できる。それに基づいて自分の意見を英文で述べることができる。
		4週	メディア文化に関する英文読解と意見陳述（４）	視覚メディアを理解できる。それに基づいて自分の意見を英文で述べることができる。
		5週	メディア文化に関する英文読解と意見陳述（５）	音楽メディアを理解できる。それに基づいて自分の意見を英文で述べることができる。
		6週	英語によるスピーチ：公民権運動家・ビジネスパーソン	公民権運動家・ビジネスパーソンによるスピーチの内容を理解できる。
		7週	英語によるスピーチ：政治家（１）	政治家によるスピーチの内容を理解できる。（１）
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	英語によるスピーチ：政治家（２）	政治家によるスピーチの内容を理解できる。（２）
		10週	英語によるスピーチ：映画（１）	映画の中でのスピーチを理解できる。（１）
		11週	英語によるスピーチ：映画（２）	映画の中でのスピーチを理解できる。（２）
		12週	敬語・言葉遣い・文書の書式について	場面に応じて適切な言葉遣いや文書作成ができる。
		13週	一般常識・マナーについて	一般常識・マナーを多々しく理解し、適切に対応できる。
		14週	席順・応対・国内外の慣習について	異文化への理解を深め、諸対応が適切にできる。
		15週	定期試験	
		16週	答案返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	課題提出	小テスト				合計
総合評価割合	16	50	34	0	0	0	100
基礎的能力	6	18	12	0	0	0	36
専門的能力	10	32	22	0	0	0	64
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

熊本高等専門学校	開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	国際言語文化論（英語）

科目基礎情報

科目番号	0007	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	共通教育科（熊本）	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	1
教科書/教材	None / English-Japanese Dictionary		
担当教員			

到達目標

1. Student is able to participate in class discussions as well as pair work with the basic conversation models.
2. Student is able to understand the basic meaning of what they listen to.
3. Student is able to do most of the written assignments and do so with proper grammar and punctuation.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
Conversation	Students participate in class discussions as well as pair work with conversation models.	Students understand the basic conversations but can’t elaborate.	Grammatical errors that lead to not being able to be understood.
Listening	Students understand the lesson completely and ask questions otherwise.	Students understand the basics but not the complete meaning.	Students are lost and don’t ask questions about what they don’t know.
Reading/ Grammar	Students do the written assignments and do so with correct grammar and punctuation.	Students complete some of the assignments but leave the sections they don’t understand completely.	Students give up when challenged with new grammar and lengthy writing assignments.

学科の到達目標項目との関係

本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 1-2 本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 4-1 本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 4-2

教育方法等

概要	This class will focus on differences in culture around the world but focusing on the US and Japan. The students will also get a chance to interact using conversation models. They will also learn useful vocabulary that they can use in a variety of situations. Homework sections will be used to reinforce what is learned.
授業の進め方・方法	The goal of this class is to further the students knowledge of US culture and give them the ability to interact in an English speaking setting as well as give them more confidence to use what they have learned in the future.
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	Self Introduction	Self Introduction Q and A
		2週	Talk about the 50 states.	America Q and A
		3週	Movie "Mister Baseball" part 1	Discuss the film
		4週	Movie "Mister Baseball" part 2	Discuss the film
		5週	Short quiz and discussion on movie until now.	Movie "Mister Baseball" part 3
		6週	Final discussion on the movie	Movie discussion and Q and A
		7週	Fourth of July reading	Discussion questions on Fourth of July and National American holidays.
		8週	Review of National Holidays and the movie.	Test Review
	2ndQ	9週	TEST	TEST
		10週	Check the test.	Fast food and inventions discussion
		11週	American Indians reading	American Indians Q and A
		12週	Reading on Racism and Equality in America.	Q and A about racism and equality
		13週	Martin Luther King reading	Q and A about the reading
		14週	Martin Luther King "I have a dream" speech reading part 1	Martin Luther King "I have a dream" speech reading part 2
		15週	Martin Luther King "I have a dream" speech video	Martin Luther King "I have a dream" speech reading part 2
		16週	TEST	TEST

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	2	

評価割合

	試験	レポート	合計
総合評価割合	75	25	100
基礎的能力	75	25	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0

熊本高等専門学校	開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	国際言語文化論（英語）

科目基礎情報

科目番号	0008	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	共通教育科（熊本）	対象学年	5
開設期	後期	週時間数	1
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 1-2 本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 4-1 本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 4-2

教育方法等

概要	平成28年度は開講しません。
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

熊本高等専門学校	開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	国際言語文化論（韓国語）

科目基礎情報

科目番号	0009	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	共通教育科（熊本）	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	1
教科書/教材	『1日10分で分かる！話せる！韓国語スタートBOOK』 木内明、株式会社ナツメ社		
担当教員	金 敬淑		

到達目標

1. 韓国語の概要韓国語の特徴・仕組み基本母音、パッチム・複合母音を理解することができる。
2. 「です・ですか？」「は・が」、「それ・あれ・これ」、「あります・ありません」を理解することができる。
3. 「いつ、どこで、だれが、何を、どうする」を理解することができる。
4. 授業で学習した表現を用いて韓国語で会話することができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
韓国語の概要韓国語の特徴・仕組み基本母音、パッチム・複合母音	韓国語の概要について大要を理解できる。ハングル（韓国文字）の書き方・読み方および発音ルールについての大要理解する。発音の基本についての大要を理解できる。	韓国語の概要について初歩を理解できる。ハングル（韓国文字）の書き方・読み方および発音ルールについて基本的概念を理解する。発音の初歩を理解できる。	韓国語の概要について初歩を理解できない。ハングル（韓国文字）の書き方・読み方および発音ルールについて基本的概念を理解する。発音の初歩を理解できない。
「です・ですか？」「は・が」、「それ・あれ・これ」、「あります・ありません」	肯定文および否定文について大要を理解できる。主格を作る「は・が」の助詞について詳細を理解できる。簡単な指示代名詞について大要を理解できる。英語のbe動詞にあたる「あります・ありません」を理解できる。	肯定文および否定文について初歩を理解できる。主格を作る「は・が」の助詞について理解できる。簡単な指示代名詞について理解できる。英語のbe動詞にあたる「あります・ありません」を簡単に理解できる。	肯定文および否定文について初歩を理解できる。主格を作る「は・が」の助詞について理解できる。簡単な指示代名詞について理解できる。英語のbe動詞にあたる「あります・ありません」を簡単に理解できない。
いつ、どこで、だれが、何を、どうする	韓国語での5W1Hについて大要を理解できる。	韓国語での5W1Hについて基本を理解できる。	韓国語での5W1Hについて基本を理解できない。
韓国語会話	今までの学習をもとにして会話ができる。	今までの学習をもとにして簡単な会話ができる。	今までの学習をもとにして簡単な会話ができない。

学科の到達目標項目との関係

本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 1-2 本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 4-1 本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 4-2

教育方法等

概要	本科目、選択言語の一つである韓国語
授業の進め方・方法	週1回の授業を通じで半年で韓国語を学習する。対象は初めて韓国語を学ぶ学生になる。半年で簡単な読み書きと基礎の文法、語彙について学び、簡単なレベルの会話でのコミュニケーションの力をつけるためこれらを反復練習や授業中の小テストを実施して学習する。尚自己確認のためのレポートなどの課題も実施する。
注意点	基本的に全授業の出席をして、授業に集中して勉強し、復習をきちんとしてください。本科目は初めて学習する内容であるため、90分の授業に対して放課後・家庭で90分程度の自学自習が求められる。評価方法は中間試験・定期試験で評価する。授業態度や提出物も評価の対象とする。総合評価で60%以上を合格とする。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	韓国語の概要や歴史、仕組みなど	
		2週	基本母音	
		3週	子音、濃音、劇音	
		4週	バッチム	
		5週	合成母音、文字学習の総練習	
		6週	です、ですか	
		7週	は、か、に、もなどの助詞の学習	
		8週	これ、それ、あれやあります、ありません	
	2ndQ	9週	中間試験	
		10週	ここ、そこ、あそこ、どこ	
		11週	しますなどの動詞の練習	
		12週	月と日と曜日の言い方	
		13週	時間の言い方	
		14週	いくらですかの金額の言い方	
		15週	定期試験	
		16週	答案返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	2	

評価割合

	試験	小テスト	合計
総合評価割合	80	20	100

基礎的能力	20	10	30
専門的能力	60	10	70
分野横断的能力	0	0	0

熊本高等専門学校	開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	国際言語文化論（中国語）

科目基礎情報

科目番号	0010	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	共通教育科（熊本）	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	1
教科書/教材	「中国語　１０課」　方　如偉　　王　智新　　白水社		
担当教員	司馬 黎		

到達目標

1. 発音の要領を習得し、ピンインを読めるようになること。
2. 平叙文、疑問文、慣用句、否定文、量詞、数等の構造、使い方を理解し、それを各教科の練習問題を通じて応用できるようになること。
3. 挨拶言葉、自己紹介、物、場所の尋ね方、気候の表現、買い物、レストランでの注文等簡単な日常会話を身に付けることができること。
4. 映像を通じて中国の現状、庶民の生活等中国への理解を深め、中国事情について説明できるようになること。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
発音の要領およびピンインの習得	①声調（四声）、子音、母音、鼻音母音を正確に発音出来る。 ②中国語発音記号（ピンイン）を正確に読める。	①声調（四声）、子音、母音、鼻音母音をある程度発音出来る。 ②中国語発音記号（ピンイン）をある程度読める。	①声調（四声）、子音、母音、鼻音母音を正確に発音出来ない。 ②中国語発音記号（ピンイン）を正確に読めない。
平叙文、疑問文、慣用句、否定文、量詞、数等の構造、使い方の理解	平叙文、疑問文、慣用句、否定文、量詞、数等の構造、使い方を正しく理解し、それを各教科の練習問題を通じて正確に応用できる。	平叙文、疑問文、慣用句、否定文、量詞、数等の構造、使い方を理解し、それを各教科の練習問題を通じてある程度応用できる。	平叙文、疑問文、慣用句、否定文、量詞、数等の構造、使い方をあんまり理解出来ない、それを各教科の練習問題を通じて応用できない。
挨拶言葉、自己紹介、物、場所の尋ね方、気候の表現、買い物、レストランでの注文等簡単な日常会話	挨拶言葉、自己紹介、物、場所の尋ね方、気候の表現、買い物、レストランでの注文等簡単な日常会話を完全に身に付けることができる。	挨拶言葉、自己紹介、物、場所の尋ね方、気候の表現、買い物、レストランでの注文等簡単な日常会話をある程度身に付けることができる。	挨拶言葉、自己紹介、物、場所の尋ね方、気候の表現、買い物、レストランでの注文等簡単な日常会話を身に付けることができない
中国の現状、庶民の生活等中国への理解	（ビデオ鑑賞）映像を通じて中国の現状、庶民の生活等中国への理解を深め、中国事情について説明できる。	（ビデオ鑑賞）映像を通じて中国の現状、庶民の生活等中国への理解を深め、中国事情についてある程度説明できる。	（ビデオ鑑賞）映像を通じて中国の現状、庶民の生活等中国への理解はできない、中国事情について説明できない。

学科の到達目標項目との関係

本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 1-2 本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 4-1 本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 4-2

教育方法等

概要	中国語の発音から指導いたします。初歩的な表現などを学習します。例えば＊挨拶言葉　＊数字　＊簡単な自己紹介　＊趣味
授業の進め方・方法	中国語（標準語）四つの声調、軽声、２１個子音、３５個母音の発声要領を身につけて、基本の文の構造（平叙文、疑問文）を学習し、簡単な文を中国語で作り、簡単な日常会話ができるように指導します。時にはビデオの映像を通じて、中国の現状、庶民の生活、経済の発展及び中国人の考え方を理解できるようにしてもらいます。
注意点	定期試験、口頭試験等を総合して評価します。総合評価で６０％以上を合格とする。第一に授業に集中すること。この授業は会話を中心に指導しますので、定員は30名以内に定めます。本当に中国と中国語（会話）に興味を持っている方に参加していただきたい。４年までの外国語以外に中国語を学習してみたいという意欲ある学生に対して開講されます。本科目は90分の授業に対して、放課後・家庭での90分程度の自学自習が課せられます。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス、および中国と中国語の概要的な紹介。中国事情のビデオの鑑賞	声調（四声）、単母音、子音の学習
		2週	複合母音、鼻イン母音、練習、	声調の組み合わせの練習、軽声、ビデオの鑑賞
		3週	日常的な挨拶言葉の紹介、第一課の学習	”是”構文の学習、応用及び練習。ビデオの鑑賞
		4週	第二課の学習　名前の尋ね方を答え方　指示代名詞、疑問詞”什么”	第二課の応用及び練習　ビデオの鑑賞
		5週	第三課の学習　形容詞の構文　比較文の学習　その他	第三課の応用及び練習　ビデオの鑑賞
		6週	第四課の学習　数字の学習　曜日、生年月日及び電話番号	第四課の応用及び練習　ビデオの鑑賞
		7週	第五課の学習　動詞文の学習　連動文、現在進行形等	第五課の応用及び練習　ビデオの鑑賞
		8週	中間テストの復習	中間テストの復習
	2ndQ	9週	第六課の学習　所有の”有”と存在の”在”の学習	第六課の応用及び練習　ビデオの鑑賞
		10週	第七課の学習　助動詞“想”、”喜”の学習	第七課の応用及び練習　ビデオの鑑賞
		11週	第八課　助動詞”会”、”能”、”可以”の学習	第八課の応用及び練習　ビデオの鑑賞
		12週	第九課の学習　””の学習　”有点儿”、”一点儿”の区別　程度副詞の学習	第九課の応用及び練習　ビデオの鑑賞
		13週	第十課　料理のオーダー及びメニューの学習	第十課の応用及び練習　ビデオの鑑賞
		14週	中国語の映画を鑑賞する«山楂之恋»	中国語の映画を鑑賞する«山楂之恋»
		15週	定期試験	定期試験
		16週	答案返却	答案返却

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	2	

評価割合

	試験	小テスト	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	20	10	30
専門的能力	60	10	70
分野横断的能力	0	0	0

熊本高等専門学校	開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	国際言語文化論（独語）

科目基礎情報

科目番号	0011	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	共通教育科（熊本）	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	1
教科書/教材	Handmade Materials (using 2 German conversation books) / German-Japanese Dictionary		
担当教員	Wiesert Detlef		

到達目標

1. Student is able to introduce her/himself, give some information more about her/himself.
2. Student is able to read an unknown text. Also she/he is able to read and answer easy questions by writing.
3. Student is able to give some information about Germany and Japan.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
Conversation/ Listening	Student is able to introduce her/himself, give some information more about her/himself, her/his hobbies and interests. Alsoshe/he can ask and answer easy questions.	Student is able to introduce her/himself, give some information more about her/himself, her/his hobbies and interests.	Student is only able to introduce her/himself and give some information about her/himself.
Reading/ Grammar	Student is able to read an unknown text and write an easy text after hearing. Alsoshe/he is able to write questions and write the answers.	Student is able to read an unknown text. Also she/he is able to read and answer easy questions by writing.	Student is only able to read a known text. But she/he is unable to answer easy questions after hearing.
Informations about other cultures	Student is able to give most of the information about Germany and Japan she/he studied during the course.	Student is able to give some information about Germany and Japan. For example: inventions, products and food.	Student can’t give any information about Germany and Japan.

学科の到達目標項目との関係

本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 1-2 本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 4-1 本科（準学士課程）での学習・教育到達目標 4-2

教育方法等

概要	The students will read the materials together and after this play dialogs.
授業の進め方・方法	The goal of this class is to further the students ability to interact in a German speaking setting as well as give them information about Europe and Germany.
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	Self Introduction for the teacher. Alphabet.	Self Introduction for students.
		2週	Calendar and time, numbers.	More self introduction talk.
		3週	Talking about interests and hobbies.	Germany’s Export and Import.
		4週	Reading a German shortstory.	"Where", "Who" and "What" Q and A with present continuous tense.
		5週	Talking about family.	Family members. "Who" Q and A.
		6週	Talk about the weather and temperature.	Comparing Japan and German weather.
		7週	Eating and drinking.	German popular food.
		8週	Shopping.	Informations about the income and costs of living in Germany.
	2ndQ	9週	TEST	TEST
		10週	Test review and corrections.	Review of all lessons from the beginning of the term.
		11週	Shopping.	Clothes and colors.
		12週	Reading a German shortstory.	Talking about the story and role-play.
		13週	German Inventions.	Comparing Japanese and German Inventions.
		14週	Workshop.	Comparing the life in Japan and Germany.
		15週	TEST	TEST
		16週	Test review and corrections.	Test review and corrections.

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	2	

評価割合

	試験	レポート	合計
総合評価割合	75	25	100
基礎的能力	75	25	100
専門的能力	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0